



江別市立大麻東中学校 学校だより

稜線

令和2(2020)年度 第4号
令和2年7月31日発行 校長 三浦 崇史

◆令和2年度の重点目標◆

自律する力を育てる
～優しさあふれる大麻東中学校～

<http://www.ebetsu-city.ed.jp/ohigasi-t/>

豊かな学びのために ～新しい様式での取組方法を模索～

「ウィズ・コロナ」という言葉をよく聞くようになりました。学校においても、新型コロナウイルス感染症について長期的な対応が求められている中、感染リスクを可能な限り低減した上で充実した学びを実現させるための取り組みを進めています。

本校の授業時数については、夏季休業の短縮や土曜授業の実施、行事の取組日程の見直し等によって、失われた時数を回復しています。ただし、生徒の学習意欲や肝心な学習内容の定着などは、時数だけで測れるものではありません。長期にわたって現実の社会的な場から遠ざかっていたことや、身体的な活動量が少なかったことの影響を感じる中、実際に体験してみることや、人と関わり合いながら成長していく機会を大切にしたい思いから、方法を工夫して取り組んでいます。

また、各教科の学習だけでなく、自分たちの課題に向き合い、協働作業を通して学ぶ各種行事の取り組みは大きな意味を持っています。全学年共通のものとしては、学校祭に向けて、ちぎり絵や壁画、調査研究、



屋外で班ごとに校歌を披露（1年音楽）



クラスを2つに分けて実験（2年理科）



仲間を拍手でたたえる（1年帰りの会）

学級CM各部門の計画作りが始まりました。昨年度に比べ、部門自体を変更したり、制作方法を変更したりしています。例えばちぎり絵は、絵を分割して密にならないように手分けして制作し、それを合わせて1つの作品に完成させるという手法をとります。合唱コンクールについては、全日本合唱連盟によるガイドラインを参考に練習方法を考え、学校祭とは別日程で11月の実施を目指します。保護者や地域の方々にも子どもたちの活躍を見ていただくことがどのような形で可能なのか、今はまだ結論を出せないため、実施1ヶ月前にはお知らせしたいと思います。



外部講師を招いての授業（3年保健）

2年生は宿泊学習に向けて活動が始まりました。北海道の教育旅行支援事業の窓口が開設されたため、バスの台数を増やして実施できるよう、旅行業者を通じて初日に申請を出しています。ホテルや見学先でも、感染防止に配慮した受け入れ態勢を整えているため、細かいやりとりを行いながら計画を立てているところです。例年に比べると活動範囲にかなりの制限がありますが、たくましさや育む貴重な機会である自主研修も計画しています。



生徒玄関前に掲げられた生徒会テーマ

野球部 市内中学校軟式野球交流戦 1位

7月24日に行われた中体連代替大会で、チーム一丸となったプレーにより見事勝利を収めました。

おめでとうございます！

美術部が学校を彩る・・・七夕飾り



美術部が階段の壁面に笹を表現。全校生徒の願いが書かれた短冊を貼って七夕飾りが完成しました。皆の願いが集まったこの一画は、強いエネルギーにあふれています。世界平和やコロナ終息、部活動競技の上達、彼女が欲しい、イケメンになりたい等々、様々な願いが掲げられています。中には「みんなの願いがかないますように」というものも。何度も計画を変更してきた3年生の「修学旅行に行けますように」には、先生達も「この願いが必ず叶いますように」と祈らずにいられません。



階段アートも作成中→

輝く笑顔で卒業アルバム用写真撮影



3年生にとって卒業年次ということ強く意識するものの1つ、アルバム用の写真撮影がありました。個人写真はとびきりの笑顔になるように、大川先生がアシスト。撮影場所の視聴覚室からは「かわいい！」「いいね！」の声が響いていました。輝く笑顔が並び、素敵な卒業アルバムになりそうです。学年の集合写真は、ソーシャルディスタンスというわけにはいかないため、さっと集まり、一瞬マスクをはずしました。この数ヶ月の間に3年生らしい顔つきになってきたことを実感する、久しぶりに見る素顔での撮影となりました。

自律する力が育っている学年生徒会の活動



それぞれの学年で、生徒による自律を目指して生徒会活動が行われています。写真は1年生の学年集会の1コマです。学年スローガンを掲げ、その意図するところについて説明しています。



各学年の“学年スローガン”



世界に1つだけの個性的な美術作品



美術の授業で制作した作品が、職員室前廊下に展示されています。左は2年生の『オリジナルの生き物』（新聞と針金で骨組みを作り、和紙を重ねて制作。）、右は3年生の『ペーパーナイフ』（木材を裁断し、装飾を施して制作。）です。同じ材料からこれだけユニークな作品が出来上がることに感動させられます。



学校評価についてのお知らせ

今年度のグランドデザイン(4月の学校だよりに挟み込んで配布しました。ホームページにも掲載しています。)に基づき、学校評価の項目を以下のように設定しています。保護者の皆様にも9月と1月にご意見をいただく予定ですので、よろしくお願いいたします。

令和2年度 大麻東中学校・学校評価の項目 A B C D の4段階で年2回評価

分野	項 目 (すべて、生徒アンケートAが70%以上を目指す。③・⑫は学校の重点で80%以上。)
学習指導	① 授業のはじめと終わりの礼 ○生徒：授業のはじめと終わりの礼について、2秒頭を下げるなど、しっかり行っている。 ◆教員：授業の礼の状況を把握し、必要に応じて指導している。
	② 授業の丁寧な文字 ○生徒：読みやすい、ていねいな文字を書く心がけている。 ◆教員：生徒の書いている文字の状況を把握し、必要に応じて指導している。
	③ 授業のまとめ・振り返り(重点) ○生徒：授業での学習のまとめ・振り返りを大切にし、次の学習に生かしている。 ◆教員：生徒一人一人が分かり直すチャンスがあり、次時への意欲をもてるよう、毎時間、まとめ・振り返りの場面を必ず位置付け、必要な指導を行っている。
	④ 授業の発表や交流 ○生徒：発表や交流を通して、自分の考えを確かめたり、深めたりしている。 ◆教員：教師の一方的な説明に終始することなく、生徒の発表や交流を位置付けている。
	⑤ わかりやすい授業 ○生徒：授業の内容がよりわかりやすく行われている。 ◆教員：分からない生徒、学習が遅れがちな生徒へのスモールステップの指導の配慮や、分からない時は分からないと言える生徒との関係づくりなど、どの生徒もわかりやすい授業を心がけている。
教育課程	⑥ 特別の教科「道徳」の指導 ○生徒：道徳で、自分でしっかり考えるとともに話し合いなどの交流を通してさらに考えを深めている。 ◆教員：道徳の基本的な学習指導過程のもと、発問を精選し、生徒が一人で考え、交流や発表を通してさらに考えを深めることができるようにしている。
	⑦ 総合的な学習の時間の指導 ○生徒：総合的な学習の時間で、課題を設定し、調べ、整理・表現して振り返っている。 ◆教員：総合的な学習の時間で、単元を通して、「課題設定→情報収集→整理分析→まとめ表現」の過程で学習活動を展開している。
生徒指導	⑧ 進んで挨拶 ○生徒：自分から進んで笑顔で挨拶するよう心がけている。 □保護者：お子さんは、家庭で、自分から進んで挨拶ができています。 ◆教員：生徒に進んで笑顔で挨拶するとともに、生徒に必要なに応じて指導している。
	⑨ 机上の整理整頓 ○生徒：教室を移動する時や机上の整理整頓、カバンのチャックを閉めている。 ◆教員：生徒の机の上やまわりの整理整頓の状況を把握し、必要な指導している。
	⑩ 特別支援教育の視点 ◆教員：視覚的な支援、スモールステップの配慮、好意に満ちた言葉かけ、温かい学級経営や授業・部活動指導など、特別支援教育の視点を踏まえた指導を行っている。
	⑪ スマホやネット利用の指導 ○生徒：ネット上に悪口を書き込まない、写真や動画などの個人情報を掲載していない。 □保護者：スマホやネットの危険性を指導し、家庭のルールを決めて守るように促している。 ◆教員：スマホやネットの利用の危険性について、折りに触れて指導している。
経営方針の重点	⑫ 自律する力を育てる～優しさあふれる学校づくり～(重点) ○生徒：思いやりの心や優しい気持ちで人と接するように努めるなど、何事においても自ら考え正しく判断して行動する力を身に付けられるようにしている。 □保護者：子どもの言動を見守り、悪口を言わない、思いやりのある言動に努めるなど、大人としての範を示している。 ◆教員：教育活動や教育環境の適時適切な改善に努めるとともに、いじめ根絶や思いやりのある言動を育てることを基盤に、生徒が自律した力を身に付けられるように指導している。
	⑬ 学校、家庭、地域をつなぐ □保護者：グランドデザインや学校HP、学校だより、学年通信・学級だより等の情報を参考に、お子さんへの必要な指導を行うとともに、学校との連携・協力を大切にしている。 ◆教員：グランドデザインや学校HP、学校だより、学年通信・学級だより等により情報提供に努めるとともに、学校と家庭、地域の連携や協力を大切にしている。

右代啓祐選手に応援メッセージを！

(6月11日に右代啓祐選手から後援会に届いたメッセージを抜粋して紹介します。)

東京五輪が1年後に延期と聞いたときはさすがに戸惑いを隠せませんでした。4年間のピークをこの年に合わせてきていたので。しかし、ネガティブなことを考えても前進はできない、という今までの経験からポジティブに思考を転換して、この1年間、自分と向き合い、さらなる進化をしようとの自粛中に自分の胸に誓いました。

日常生活では生活のリズムを整えました。睡眠は8時間以上、食事はいつも妻に作ってもらっていましたが、自分は何を食べて身体が作られているのかを知るために、自ら3食、食事を作りました。また、トレーニング動画や本を読む時間を確保して知識やイメージを膨らませました。トレーニングでは、早朝と夜間に人に会わない場所でコンクリートの塚を走り、自重でゴムチューブやメディシンボールを利用した筋力トレーニング、三脚で撮影しながら技術種目の確認などをしました。このような生活を2ヶ月間継続することで、自分の中での東京五輪でのメダル獲得のビジョンがより鮮明に見えるようになりました。トレーニングは正直、十分にはできていないのですが、それ以外の日常生活から自分の身体としっかり向き合うことと前向きな行動で身をもって体感した感覚です。

今後の予定としては、9月26日・27日に長野市営で行われる日本選手権に出場予定です。

五輪選考には関係のない大会ですが、6年ぶりの日本記録更新を目指し、東京五輪へ弾みとなる成果を皆さんにお届けしたいと思っています。これからも、応援よろしくお願い申し上げます。

～後援会事務局では皆様からの応援激励メッセージを募集しています。～

- ・文字数、書式は自由です。　・住所、氏名は必ず記入してください。　・締切は8月20日です。
- 〈送付先〉郵送：〒069-0813 江別市野幌町9番地 江別市民体育館内 右代啓祐選手後援会
- FAX：011-385-7192
- メール：info@etaikyo.org (本文内の書込か、Word等の添付で送信してください。)



の行事予定

★スクールカウンセラーの相談日・・・8月24日(月)

時間については教頭へお問い合わせください。

日	曜	行	事	日課	給食	部活	放課後学習
1	土						
2	日						
3	月	清掃強調週間(～8月7日)		5時間	簡易	○	
4	火	尿検査(2次)		5時間	簡易	○	1年
5	水	夏休み・前期期末テスト計画		5時間	簡易	○	
6	木			5時間	簡易	○	
7	金	休み前集会、職員会議		5時間	簡易	休養日	
8	土	夏季休業～8月19日(12日間)				○	
9	日					○	
10	月	(山の日)				○	
11	火					○	
12	水	学校閉庁日				休養日	
13	木	学校閉庁日				休養日	
14	金	学校閉庁日				休養日	
15	土					○	
16	日					○	
17	月					○	
18	火					○	
19	水	夏季休業最終日、転入生受付				○	
20	木	休み明け集会		6時間	○	○	
21	金	教育実習①開始(～9月1日)、職員会議		5時間	○	休養日	
22	土					○	
23	日					○	
24	月	教育実習②開始(～9月11日)		6時間	○	○	
25	火			6時間	○	○	1・2年
26	水			5時間	○	○	
27	木	職員室入室制限(～9月3日)		6時間	○	○	
28	金			6時間	○	○	
29	土	テスト前活動停止(～9月2日)				休養日	
30	日					休養日	
31	月			6時間	○	休養日	